

6学年社会科「天皇中心の国づくり」タブレット（一人に一台）



単元のめあて 聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇の三人の人物についてその代表的な行動や文化遺産などについて調べ理解し、天皇中心の政治が確立されていった過程、それに関わる人物の願いや働きについて考え表現する。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ① 3人一組のグループに分かれ、聖徳太子、中大兄皇子、聖武天皇の分担を決める。
- ② 自分が担当した人物の行動について、学習問題に沿って調べる。
- ③ 同じ人物のグループ内で話し合い、交流したことを受けて、調べたことをスライドにまとめる。
- ④ 最初のグループに戻り、自分が担当した人物についてスライドを用いて発表する。
- ⑤ 三人の人物について調べて分かったことを時系列順にまとめ、共通点を考える。
- ⑥ 学習問題に対する答えをまとめる。

☆タブレット活用☆

- ロイロノートスクールを使い、一人一人がスライドを作る。
スライド内容：3人の人物が天皇中心の国づくりのために行ったこと。
教科書や資料集の資料を写真で写し、スライドに載せ、根拠とする。
- 出来上がったスライドは教員へ提出する。

☆タブレット活用のメリット☆

- 資料の収集、加筆修正が簡単で、スライドの順番の入れ替えもすぐにできるので、わかりやすく見やすいスライドが短時間でできる。
- 根拠を写真で撮ってから発表内容を考えるので、常に根拠を意識して話し合いや考察が行われる。
- 提出されたスライドを確認することで評価ができる。